2021 MOPC award 医療貢献特別賞 一般財団法人 聖マリアンナ会

移動コンテナ型PCR検査室から測定データをクラウド共有

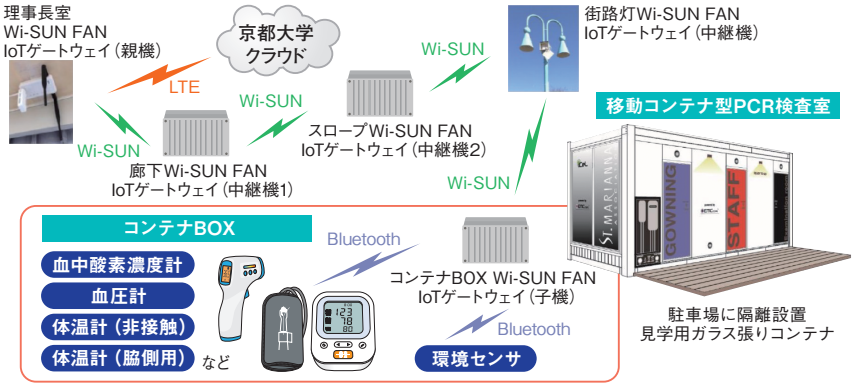
DATA

導入活用目的	新型コロナウイルス対応 遠隔測定
テクノロジ	Wi-SUN、IoT、クラウド

Profile

一般財団法人聖マリアンナ会
医療機関
URL：https://www.st-marianna-group.com/

図　移動コンテナ型PCR検査室からのWi-SUN通信



コロナ禍において、病院では一般診療と発熱外来との動線分けなど、安全な診療の実施が求められている。

聖マリアンナ会では、院内感染予防のため、施設内駐車場に隔離設置した移動コンテナ型PCR検査室（診療室）を活用する実証実験を行った。

ただ、場所が離れると、医療従事者側に診察者の検査データを別途入力する煩雑さが生じる。

解決策として、Wi-SUN搭載機器を活用。体温データ、血圧データ、血中酸素濃度など測定データを送信しクラウド上で管理し、業務負荷を軽減できた。使用したWi-SUN搭載機器は中継器を数台使用し多段中継（ホップアップ）を実現している。

今後は、地域病院との連携を視野に入れ、在宅看護や在宅における遠隔診療での実用化を目指していくとのことだ。

＊Wi-SUN FANを使用した本システムは京都大学により研究開発され、研究開発の一部は、内閣府ImPACT・総務省SCOPEの支援を受けたものです。